

## 未来を見る力

ある人が大切にしている言葉があります。

二十代で積む努力は、三十代の自信を育てる。

三十代で広げる学びは、四十代の判断を深める。

四十代で築く信頼は、五十代の歩みを支える。

五十代で重ねる経験は、六十代の余裕を生む。

六十代で抱く希望は、七十代の心を明るくする。

七十代で描く夢は、八十代の人生を輝かせる。

この言葉は、今の時間が未来につながっていることを教えてくれます。努力しても思うような結果が出ないとき、人は目の前の出来事だけを見てしまいがちです。すると、小さな失敗が大きな壁のように感じてしまいます。

しかし、時間の流れの中で自分の歩みを見つめると、今の経験が次の成長につながる大切な一歩だと気づきます。「広い視野で自分を見つめる力」がある人ほど、困難の中でも前に進むことができます。未来を見通して努力する人は、今日の一步を決して無駄にしません。人生は短い勝負ではなく、長い物語なのです。

**今日の言霊…未来視点で今を生きる**

この文章のポイントは、人生を長い時間の流れの中で考える姿勢の大切さを示している点にあります。人は結果が出ない状況に直面すると、今起きている出来事だけに意識が集中しやすくなります。そのため、努力が意味のないもののように感じたり、自分の価値を低く見積もってしまうことがあります。



しかし、人の成長は短期間で判断できるものではありません。経験、努力、人との関わりなどは、時間が経つにつれて価値を持ち始めます。文章では年代ごとに異なる成果を示すことで、人生が段階的に積み重なっていくことを表しています。さらに重要なのは、自分の状況を少し離れた位置から考える姿勢です。目の前の結果だけで判断せず、長い時間軸で意味を見つめ直すことで、失敗や停滞の見え方が変わります。

このように物事を広い視点で捉える力は、困難に直面したときに冷静な判断を支える大切な能力になるという点が、この文章の学びです。

**【今回の学び】⇒ 広い視野が心を支える！**

# 未来を見る力

ある人が大切にしている言葉があります。

二十代で積む努力は、三十代の自信を育てる。

三十代で広げる学びは、四十代の判断を深める。

四十代で築く信頼は、五十代の歩みを支える。

五十代で重ねる経験は、六十代の余裕を生む。

六十代で抱く希望は、七十代の心を明るくする。

七十代で描く夢は、八十代の人生を輝かせる。

この言葉は、今の時間が未来につながっていることを教えてくれます。努力しても思うような結果が出ないとき、人は目の前の出来事だけを見てしまいがちです。すると、小さな失敗が大きな壁のように感じてしまいます。

しかし、時間の流れの中で自分の歩みを見つめると、今の経験が次の成長につながる大切な一歩だと気づきます。「広い視野で自分を見つめる力」がある人ほど、困難の中でも前に進むことができます。未来を見通して努力する人は、今日の一步を決して無駄にしません。人生は短い勝負ではなく、長い物語なのです。

**今日の言葉：未来視点で今を生きる**

★問題一（語句の意味） 本文中の「余裕」の意味として最も適切なものを選びなさい。

ア 時間や心にゆとりがあり落ち着いていること

イ 他人より優れている能力のこと

ウ 努力しなくても成功できる状態

エ 物事を急いで進める姿勢

★問題二（内容理解） 本文で述べられている「二十代で積む努力」の意味として最も適切なものを選びなさい。

ア 若いうちは努力よりも結果を重視するべきだということ

イ 若い時の努力が将来の自信や成長につながるということ

ウ 二十代だけが努力する価値のある時期だということ

エ 努力は年齢を重ねるほど意味がなくなっていくこと

★問題三（内容理解） 本文によると、人が小さな失敗を大きな壁のように感じてしまう理由として最も適切なものを選びなさい。

ア 自分の努力が足りないと感じるから

イ 未来を考えすぎてしまうから

ウ 目の前の出来事だけを見てしまうから

エ 周囲の人に相談できないから

★問題四（内容理解） 本文の内容として最も適切なものを選びなさい。

ア 人生は短い競争なので早く結果を出すことが大切である

イ 成功する人は失敗をまったく経験しない

ウ 今の経験は未来の成長につながる大切な一歩である

エ 努力は若い時期だけ行えばよい

★問題五（記述式） 筆者は「未来を見る力」とはどのような考え方だと述べていますか。本文の内容に基づいて四十文字程度で説明しなさい。

【模範解答】

★問題一 解答：ア

○解説④ 余裕とは、時間や心にゆとりがあり落ち着いて行動できる状態を指す。本文では経験を重ねることによって心にゆとりが生まれ、人生を落ち着いて歩めるようになることを表している。

★問題二 解答：イ

○解説④ 本文では、二十代の努力が三十代の自信につながると述べられている。つまり若い時期の努力は将来の成長や自信を生み出す土台になるという意味であり、長い人生の視点を示している。

★問題三 解答：ウ

○解説④ 人は思うような結果が出ないと、目の前の出来事だけを見てしまいがちだと本文にある。そのため小さな失敗でも大きな壁のように感じてしまうと説明されているので、この選択が正しい。

★問題四 解答：ウ

○解説④ 本文の中心は、今の努力や経験が未来の成長につながるという考え方である。人生を長い時間の流れで見れば、今日の経験も次の成長につながる大切な一歩になると述べている。

★問題五 模範解答

**今の努力や経験が未来の成長につながると考え今日の一步を大切にすること**

○解説④ 本文では人生を長い物語として捉え、今の努力や経験が未来につながるかと考えることの大切さを述べている。未来を見通すことで今日の一步を大切にできると説明している。

この文章のポイントは、人生を長い時間の流れの中で考える姿勢の大切さを示している点にあります。人は結果が出ない状況に直面すると、今起きている出来事だけに意識が集中しやすくなります。そのため、努力が意味のないもののように感じたり、自分の価値を低く見積もってしまうことがあります。



しかし、人の成長は短期間で判断できるものではありません。経験、努力、人との関わりなどは、時間が経つにつれて価値を持ち始めます。文章では年代ごとに異なる成果を示すことで、人生が段階的に積み重なっていくことを表しています。さらに重要なのは、自分の状況を少し離れた位置から考える姿勢です。目の前の結果だけで判断せず、長い時間軸で意味を見つめ直すことで、失敗や停滞の見え方が変わります。

このように物事を広い視点で捉える力は、困難に直面したときに冷静な判断を支える大切な能力になるという点が、この文章の学びです。

**【今回の学び】⇒ 広い視野が心を支える！**